



2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月15日

上場会社名 株式会社ビザスク 上場取引所 東
コード番号 4490 URL <http://visasq.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 端羽 英子
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 小風 守 TEL 050-3733-8513
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 ー
決算補足説明資料作成の有無：有（当社Webサイトに掲載）
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	4,935	14.3	582	—	568	—	107	—
2024年2月期中間期	4,317	4.2	△129	—	△146	—	△196	—

（注）包括利益 2025年2月期中間期 192百万円（△81.0％） 2024年2月期中間期 1,018百万円（△55.7％）

	調整後EBITDA		1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	472	26.6	△2.92	—
2024年2月期中間期	373	△38.7	△36.07	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	7,008	509	6.3
2024年2月期	7,293	302	3.2

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 441百万円 2024年2月期 236百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	取扱高		営業収益		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,417	10.0	9,724	8.4	435	△65.3	600	—	550	—	50-100	—	5.4-10.8

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年2月期中間期	9,236,300株	2024年2月期	9,204,850株
2025年2月期中間期	75株	2024年2月期	75株
2025年2月期中間期	9,226,289株	2024年2月期中間期	9,172,162株

（5）指標の算式

調整後EBITDA：営業利益＋減価償却費及びのれん償却費＋株式報酬費用－Coleman社ソフトウェア開発費に関する減損損失

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2024年7月12日に開示した「業績予想に関するお知らせ」などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

補足資料

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00			
2025年2月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

B種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00			
2025年2月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	5
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、企業収益においてはおおよそ持ち直しの動きがみられ、特にソフトウェアを中心とした無形財への投資の増加傾向が続いています。欧米経済は、見通しにくい状況ではあるものの、足元の経済状況は堅調な状況が続いています。

このような状況の下、当中間連結会計期間における知見プラットフォーム事業はおおよそ業績予想の想定通りに推移しております。

国内事業法人向け事業（国内における事業会社を主要顧客とする事業領域）は、前年同期間と比べて約12%の取扱高成長となりました。様々なプロダクトを顧客に提案・提供できるよう組織体制を見直したことや、既存顧客内の需要を掘り起こす取り組みを進めております。

国内ENS事業（国内におけるコンサルティング・ファーム、金融機関等を主要顧客層とする事業領域）は、前年同期間と比べて約15%の取扱高成長となりました。主要顧客であるコンサルティング・ファーム等における好調な需要を背景として、国内外エキスパートのマッチングが増加しており、特に、海外エキスパートも含めた当社の有する全エキスパートを顧客にご提案するシステムが実運用段階に入ったことで、海外知見に対する需要を円滑に取り込むことができるようになっております。

海外ENS事業（海外におけるコンサルティング・ファーム、金融機関等を主要顧客層とする事業領域）は、前年同期間と比べて約12%の取扱高成長となりました。前年の下期にかけてマクロ環境の影響を受けて業績が低迷しておりましたが、当期においては自助努力による収益性回復を目指して、営業活動強化などの施策を行っております。

以上の結果、当中間連結会計期間末時点で登録者数は65万人超、取扱高（※1）は知見プラットフォーム事業全体で7,223百万円となりました。

また、当中間連結会計期間における営業収益は4,935,652千円（前年同期比14.3%増）、営業利益582,602千円（前年同期は129,389千円の営業損失）、経常利益568,566千円（前年同期は146,580千円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純利益107,337千円（前年同期は196,496千円の親会社株主に帰属する中間純損失）、調整後EBITDA（※2）は472,341千円（前年同期比26.6%増）となりました。

当社グループは知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（※1）取扱高：当社の知見プラットフォーム事業において当社が顧客から得た対価（知見提供取引毎に顧客と合意した値引控除前の数値であり、アドバイザーへの謝礼を含みます）の合計

（※2）調整後EBITDA：営業利益＋減価償却費及びのれん償却費＋株式報酬費用－Coleman社ソフトウェア開発費に関する減損損失

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は7,008,067千円となり、前連結会計年度末より285,799千円減少しました。これは主に、売掛金及び契約資産が216,872千円減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は6,498,601千円となり、前連結会計年度末より493,069千円減少しました。これは主に、契約負債が406,879千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は509,465千円となり、前連結会計年度末より207,270千円増加しました。これは主に、当中間連結会計期間に親会社株主に帰属する中間純利益107,337千円を計上したこと、為替換算調整勘定が85,657千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて119,506千円減少いたしました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、137,386千円の収入（前年同期比25.1%減）となりました。収入の主な内容は、税金等調整前中間純利益305,112千円、減損損失263,453千円、売上債権の減少額347,586千円、契約負債の減少額509,775千円、法人税等の支払額217,257千円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、125,962千円の支出（前年同期比9.8%減）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出125,409千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、198,869千円の支出（前年同期比68.4%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出200,500千円によるものです。

（3）継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、当中間連結会計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益を計上しているものの、前連結会計年度に多額の減損損失を計上した結果、前連結会計年度末に財務制限条項に抵触していることに鑑み、当中間連結会計期間末では未だ継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

一方で、当社は当該事象又は状況への対応策として、期限の利益喪失請求を行わないことにつき取引銀行より書面による承諾を得ております。また、事業計画に基づく今後1年間の資金繰りについて現在の手元資金も踏まえて検討したところ、2025年8月末までは十分な資金を有することが見込まれると判断しております。

以上から、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,306,994	4,186,698
売掛金及び契約資産	2,220,709	2,003,836
その他	454,219	527,976
貸倒引当金	△13,774	△11,932
流動資産合計	6,968,148	6,706,578
固定資産		
有形固定資産	33,953	31,318
投資その他の資産	291,765	270,170
固定資産合計	325,718	301,488
資産合計	7,293,867	7,008,067
負債の部		
流動負債		
買掛金	314,145	270,953
1年内返済予定の長期借入金	425,687	475,062
未払金	365,491	528,399
未払法人税等	231,583	153,285
契約負債	2,072,055	1,665,176
賞与引当金	417,443	339,116
その他	287,632	340,027
流動負債合計	4,114,039	3,772,021
固定負債		
長期借入金	2,873,562	2,623,687
繰延税金負債	4,069	5,728
その他	—	97,164
固定負債合計	2,877,632	2,726,580
負債合計	6,991,671	6,498,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	467,710	476,622
資本剰余金	9,240,666	9,243,970
利益剰余金	△12,753,162	△12,645,824
自己株式	△278	△278
株主資本合計	△3,045,064	△2,925,510
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,281,066	3,366,724
その他の包括利益累計額合計	3,281,066	3,366,724
新株予約権	66,193	68,252
純資産合計	302,195	509,465
負債純資産合計	7,293,867	7,008,067

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業収益	4,317,854	4,935,652
営業費用		
役員報酬	58,829	24,633
給料及び手当	1,823,652	2,067,245
賞与引当金繰入額	279,621	350,831
支払報酬	162,876	219,795
その他	2,122,264	1,690,543
営業費用合計	4,447,244	4,353,049
営業利益又は営業損失 (△)	△129,389	582,602
営業外収益		
受取利息	23	133
受取家賃	10,441	13,436
補助金収入	389	2,581
受取還付金	—	37,389
その他	54	5,399
営業外収益合計	10,908	58,940
営業外費用		
支払利息	19,208	19,813
為替差損	8,726	11,109
売上税返還損失	—	42,032
その他	163	20
営業外費用合計	28,098	72,976
経常利益又は経常損失 (△)	△146,580	568,566
特別損失		
減損損失	—	263,453
その他	—	0
特別損失合計	—	263,453
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	△146,580	305,112
法人税、住民税及び事業税	150,421	141,333
法人税等調整額	△100,504	56,441
法人税等合計	49,916	197,775
中間純利益又は中間純損失 (△)	△196,496	107,337
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△196,496	107,337

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△196,496	107,337
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,214,561	85,657
その他の包括利益合計	1,214,561	85,657
中間包括利益	1,018,064	192,995
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,018,064	192,995
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△146,580	305,112
減価償却費	386,009	10,283
のれん償却額	214,299	—
減損損失	—	263,453
補助金収入	△389	△2,581
賞与引当金の増減額(△は減少)	△73,740	△97,925
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,857	△3,507
受取利息及び受取配当金	△23	△133
支払利息	19,208	19,813
為替差損益(△は益)	△14,340	14,608
売上債権の増減額(△は増加)	132,195	347,586
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,286	△49,130
前払費用の増減額(△は増加)	△30,218	9,501
未払金の増減額(△は減少)	△15,118	132,501
未払費用の増減額(△は減少)	27,717	22,126
契約負債の増減額(△は減少)	126,344	△509,775
前受収益の増減額(△は減少)	86	△109
預り金の増減額(△は減少)	29,737	22,434
未払消費税等の増減額(△は減少)	△112,815	△24,740
その他	△34,582	△86,668
小計	483,645	372,851
利息及び配当金の受取額	23	133
補助金の受取額	389	2,581
利息の支払額	△19,085	△20,922
法人税等の支払額	△281,436	△217,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,536	137,386
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△34,895	△18,182
無形固定資産の取得による支出	△102,943	△125,409
敷金及び保証金の差入による支出	△2,694	△1,423
敷金及び保証金の回収による収入	944	19,052
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139,589	△125,962
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△150,125	△200,500
株式の発行による収入	32,009	12,134
新株予約権の発行による収入	—	460
リース債務の返済による支出	—	△10,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118,115	△198,869
現金及び現金同等物に係る換算差額	71,871	67,940
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,297	△119,506
現金及び現金同等物の期首残高	3,875,390	4,307,529
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,873,093	4,188,023

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	米国	合計
2,348,312	1,969,542	4,317,854

(注) 1. 営業収益は、顧客と契約している当社グループ法人の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。以下、(2)も同様であります。なお、「米国」にはColeman Research Group, Inc. が分類されております。

2. なお、上記営業収益はすべて「顧客との契約から生じる収益」であり、その他の収益はありません。

(2) 営業利益

(単位：千円)

日本	米国	合計
570,321	△699,711	△129,389

(3) 減損損失

該当事項はありません。

当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	米国	合計
2,568,712	2,366,939	4,935,652

(注) 1. 営業収益は、顧客と契約している当社グループ法人の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。以下、(2)も同様であります。なお、「米国」にはColeman Research Group, Inc. が分類されております。

2. なお、上記営業収益はすべて「顧客との契約から生じる収益」であり、その他の収益はありません。

(2) 営業利益

(単位：千円)

日本	米国	合計
526,975	55,626	582,602

(3) 減損損失

Coleman Research Group, Inc. が保有している固定資産について、収益性が低下しているため、回収可能価額をゼロとして、帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては263,453千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。